

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	花のふれあいスポット推進事業		
事業担当	土木部 道路管理課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	住みごこち 人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他 】【協働： 自治会等各種団体、個人 】		
目的・目標		事業の概要	
市民の道路愛護意識の向上が図られているとともに、潤いのある道路空間が形成されています。		道路愛護意識の向上と潤いのある道路空間を形成するため、市民が道路残地等に植栽する草花を提供します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	草花等提供量			単位	本
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	3600	3700	4000	4100	
	実績	3788	4280	5305		
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	市民による緑化協力箇所数			単位	箇所
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	7	9	10	11	
	実績	8	9	10		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	：予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
宝町商店会、八幡地区町内福祉村運営協議会、平塚農業高校、相模小学校、西海岸商店街、日向岡地域ボランティア、高浜台自治会、八重咲町自治会、老松町自治会に加え、新たに扇の松海岸通りの会の参加もあり、緑化が図られました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	市民との協働による道路沿いの緑化であり、道路愛護意識の向上が図られる上で必要な事業です。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	市民との協働による道路沿いの緑化により、道路愛護意識の向上や、市民満足度が増す等の有効性がある事業です。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	市民との協働による道路沿いの緑化により、道路愛護意識の向上が図られる、妥当性のある事業です。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	市民との協働により、維持管理費の削減等、効率化も図られる事業です。	高中低
今後に向けた課題の分析 潤いのある道路空間の形成や道路愛護意識の向上を図るため、主旨に賛同していただける方に参加・活動してもらえるように、地域住民の理解と協力を得る必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		草花等の提供	草花等の提供	草花等の提供	草花等の提供
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	346	310	355	400
事業費 (A)		346	310	355	400
執行率 (%)		98.86	98.41	100.00	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 潤いのある道路空間の形成と道路愛護意識の向上を図るため、団体等へ草花を提供します。
課長コメント 地域住民の理解と協力により、道路愛護意識の向上と潤いのある道路空間の形成のため、今後も継続して実施していく必要があります。